

補助事業番号 22-1-109

補助事業名 平成22年度 日本体育協会が行うスポーツの振興 補助事業

補助事業者名 公益財団法人 日本体育協会

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

本会は、国民体育大会を開催し、スポーツ少年団の育成に努めるほか、各種国民スポーツ振興事業を推進していく役割を担っており、主要事業をさらに効果的に展開して、生涯スポーツ社会の実現に向けた体制の構築を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容等

ア. 国民体育大会実施事業

全国9ブロックで実施した国民大会ブロック大会に対し、開催費の一部を助成した（参加者44,574名）。



競技会場の表示

ホッケー競技の試合風景

イ. 日本スポーツマスターズ実施事業

スポーツ愛好者の中でも競技志向の高い中・高年齢者層を対象としたシンボリックな大会として位置づけ、下記のとおり開催した。

- 1) 水泳、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、自転車競技、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、バドミントン、空手道、ボウリング、ゴルフ 計 13 競技
- 2) 実施日：平成 22 年 9 月 17 日～21 日(5 日間)
(ゴルフ競技は 13 日～15 日の 3 日間)
- 3) 会場：三重県各地
- 4) 参加者：7,703 名



開会式でのシンボルメンバーの挨拶の様子



サッカー競技の試合風景

ウ. シニアリーダースクール実施事業

将来のスポーツ少年団指導者として期待されるスポーツ少年団青少年リーダーを養成するため、4泊5日の合同研修と通信研修を実施した。

また、全国都道府県スポーツ少年団リーダーの相互研修を通し、各都道府県リーダー会の充実・強化およびリーダー会の設置を促進するため、1泊2日の日程でリーダー連絡会を実施した。

<シニアリーダースクール>

- 1) 集合研修と通信研修
- 2) 実施日：平成 22 年 8 月 12 日～16 日(4 泊 5 日)
- 3) 参加者：132 名
- 4) 場所：国立中央青少年交流の家
- 5) 内容：次の内容を含む 40 時間以上の講習・実習

【講義】【グループワークトレーニング】

【グループ別実技指導】【係別活動】【早朝活動】

【交歓・交流活動】【テーマ別ディスカッション】



講義（実技）風景



テーマ別ディスカッションの様子

<全国連絡会>

- 1) 年1会場
- 2) 実施日：平成22年10月2日～3日(1泊2日)
- 3) 参加者：125名
- 4) 場所：国立オリンピック記念青少年総合センター
- 5) 内容：ブロック別分散会と全体会(ブロック代表の研究発表)



ディスカッション内容の発表の様子

ブロック別ディスカッションの様子

エ. 情報誌スポーツジャスト発行事業

少年スポーツ情報誌「スポーツジャスト」を年10回、延405,000部発行。各地域の少年スポーツ活動の実態、また少年スポーツ活動の実践的内容等を掲載した。



Sport JUST 4・5月号表紙

Sport JUST 6月号表紙

オ. 日独スポーツ少年団同時交流

(受入)

7月23日から8月13日までの22日間、ドイツスポーツ少年団員および指導者120名を受け入れ、全国各地においてスポーツ活動やテーマディスカッションをはじめとする研修プログラムを実施した。

(派遣)

7月20日から8月11日までの23日間、日本スポーツ少年団青少年リーダーおよび指導者70名をドイツに派遣し、ドイツ各地においてスポーツ活動やテーマディスカッションをはじめとする研修プログラムを実施した。



ドイツ団・弓道体験



テーマディスカッションの様子

カ. スポーツ少年団交流大会事業

<全国スポーツ少年大会>

全国より団員(小学4年生～高校3年生)、指導者の参加を得て、開催地の特色を生かしスポーツを中心とした野外・文化・学習活動等を実施した。

- 1) 実施日：平成22年7月31日～8月3日(3泊4日)
- 2) 参加者：349名
- 3) 場所：島根県・国立三瓶青少年交流の家他
- 4) 内容：スポーツ活動(SHIPS活動【走・跳・投の基本的運動】)、文化的活動(開催地の郷土文化の体験)、野外活動(自然観察ウォークラリー等)、交流交歓活動(レクリエーション／サマーフェスタ等)



開会式風景

スポーツ活動の様子

キ. 競技別スポーツ指導者養成事業

<指導員養成講習会>

都道府県体育協会をはじめとする加盟団体等とともに、スポーツに関する知識と資質の向上を目指した競技別指導者を養成するための講習会を全国で実施した。

指 導 員・専門科目： 133コース実施(参加者：3,347名)

上級指導員・共通科目： 16コース実施(参加者： 558名)

上級指導員・専門科目： 17コース実施(参加者： 402名)



講義(実技)の様子

研究協議の様子

<全国スポーツ指導者連絡協議会>

本会公認スポーツ指導者の全国的連帯と資質・指導力の向上を図り、指導活動の促進方策等について協議するため、加盟団体の指導者代表等により開催した。

名称：平成22年度第1回・第2回全国スポーツ指導者連絡会議

期間：第1回／平成22年4月16日、第2回／平成22年12月17日

参加人数：第1回／91名、第2回／133名

名称：平成22年度第1回全国スポーツ指導者連絡会議・都道府県
ブロック会議

期間：平成22年6月～7月

参加人数：366名

実施場所：全国8ブロック（山形県、群馬県、福井県、岐阜県、
兵庫県、鳥取県、徳島県、大分県）



北海道・東北ブロック会議の様子

関東ブロック会議の様子

<クラブマネジャー養成講習会>

総合型の地域スポーツクラブなどにおいて、クラブ会員が快適なスポーツライフ(クラブライフ)を送ることができるよう、経営資源を適切に確保し円滑に活用するために必要なマネジメント能力を有する人材を養成した。

公認クラブマネジャー養成講習会（Ⅰ期集合講習）

平成22年8月21日～22日 参加人数：44名

公認クラブマネジャー養成講習会（Ⅱ期集合講習）

平成22年10月15日～17日 参加人数：65名

公認クラブマネジャー養成講習会（Ⅲ期集合講習）

平成22年12月17日～20日 参加人数：64名

公認クラブマネジャー研修会

平成23年1月22日 参加人数：52名

公認クラブマネジャー養成専門科目プレゼンテーション検定会

平成23年2月11日 参加人数：68名



研究協議の様子

講義風景

<指導者手帳等作成>

これから資格を取得しようとする者や、スポーツ関係者、一般のスポーツ愛好者等に対し、本会公認スポーツ指導者制度を広く周知し、公認スポーツ指導者のより一層の活用促進を図るため、資格ガイドブック2,000部、資格PRパンフレット300,000部をそれぞれ作成し、配布した。



資格ガイドブック表紙

資格PRパンフレット表紙

ク. スポーツ科学研究事業

<高齢者の元気長寿支援プログラム開発事業>

元気長寿支援システムの実現（要介護化予防）を目的として、従来型プログラムを発展的に活用した新しい運動プログラムを危険要因別（転倒予防、認知症予防、閉じこもり予防、身体的弱体化予防）に開発した。

[プログラム開発研究]

危険要因別運動プログラム開発研究作業

平成 22 年 7 月 10 日～9 月 10 日

危険要因別運動プログラム開発研究作業、データ整理、報告書執筆作業

平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 2 月 24 日

2. 予想される事業実施効果

ア. 国民体育大会実施事業国民体育大会実施事業

国民体育大会ブロック大会を通じて、競技の水準を高めるとともに、少年から成人にいたる幅広い年齢層の競技者に対して、日々のスポーツ活動の成果を発揮する機会を提供できた。

イ. 日本スポーツマスターズ実施事業

本大会は、スポーツ愛好者の中で競技志向の高い中・高年齢者層を対象としたシンボリックな大会として開催し、スポーツへのチャレンジ意欲の啓発、継続的なスポーツ実践者の増大等、スポーツ文化を豊かに享受する生涯スポーツ社会の実現に寄与した。

ウ. シニアリーダースクール実施事業

全国各地域、市区町村におけるスポーツ少年団青少年リーダーの資質を向上させ、リーダーから将来の指導者へと一貫した養成制度のより一層の確立を図ることができた。

エ. 情報誌スポーツジャスト発行事業

次代を担う子どもたちが豊かなスポーツライフを享受できる「少年スポーツのあり方」に配慮した内容をもって、広く一般の少年スポーツ指導者に対し適切な情報を提供することができた。

オ. 日独スポーツ少年団同時交流

全国各地において民泊を中心とする受入プログラムを通して、両国青少年の友好親善を深め、国際的な視野を持った青少年リーダーを養成することができ、また、スポーツ少年団国際交流事業のより一層の充実を図ることができた。

カ. スポーツ少年団交流大会事業

全国から集まったスポーツ少年団員に対し、スポーツを核とした幅広い活動プログラムを提供することにより、スポーツを行う喜びを経

験する機会と、団員相互の交流の深める機会を与えることができた。

キ. スポーツ指導者育成事業

参加した受講者はスポーツに関する総合的な知識と技能を身につけることができ、より安全に適切な指導ができる指導者の養成が行われたとともに、公的資格を有する者や、これから資格を取得しようとする者へ対し、より良い指導の助けとなるための情報を提供することができた。

ク. スポーツ科学研究事業

従来型の運動プログラムを発展的に活用した新しい運動プログラムを転倒予防や認知症予防といった危険要因別に開発することにより、3年次(最終年度)に実現を目指す、地域の人材や社会環境と融合・調和しうる元気長寿支援システムの実現(要介護化予防)に向けた具体的な成果をあげることができた。

3. 本事業により作成した印刷物

事業	名称	部数	備考
②	日本スポーツマスターズ 公式ポスター	3,900部	
	日本スポーツマスターズ PRリーフレット	26,500部	
	日本スポーツマスターズ 総合ガイドブック	2,200部	
	日本スポーツマスターズ 競技別プログラム	15,010部	13競技
	日本スポーツマスターズ 競技運営委託業務書類様式	120部	
	日本スポーツマスターズ 報道要領	230部	
	日本スポーツマスターズ 大会実施要項	7,587部	
	日本スポーツマスターズ 大会報告書	1,000部	
	日本スポーツマスターズ 賞状	2,160部	
③	スポーツ少年団リーダーのためのテキストブック	200部	
	シニアリーダースクール参加者ノート	200部	
	リーダー連絡会 報告書	300部	
④	情報誌スポーツジャスト	延 405,000部	年10回発行
⑤	日独スポーツ少年団同時交流 受入ガイドブック	3,000部	
	日独スポーツ少年団同時交流 受入用独文ハンドブック	150部	
	日独スポーツ少年団同時交流 受入用ステッカー	1,000部	
	日独スポーツ少年団同時交流 派遣ガイドブック	200部	
	日独スポーツ少年団同時交流 事前研修会参加者ノート	150部	
	日独スポーツ少年団同時交流 用語集	1,000部	
	日独スポーツ少年団同時交流 派遣用ステッカー	2,000部	
	日独スポーツ少年団同時交流 報告書	1,200部	
⑥	全国スポーツ少年大会 大会プログラム	750部	
	全国スポーツ少年大会 大会マニュアル	1,000部	
	全国スポーツ少年大会 パンフレット	550部	
	全国スポーツ少年大会 大会ポスター、チラシ	550部	

	全国スポーツ少年大会 報告書	1,000 部	
⑦	全国スポーツ指導者連絡会議 ブロック会議資料(全体)	400 部	
	全国スポーツ指導者連絡会議 ブロック会議資料(北海道・東北)	40 部	
	クラブマネジャー養成講習会 PRパンフレット	8,000 部	
	公認スポーツ指導者PRパンフレット	300,000 部	
	オフィシャルブック [資格ガイドブック]	2,000 部	
⑧	研究報告書－第2報－	400 部	
	合計	787,797 部	

4. 事業内容についての問い合わせ

団 体 名： 公益財団法人 日本体育協会(ニホンタイイクキョウカイ)

住 所： 150-8050

東京都渋谷区神南1-1-1

代表者名： 会長 張 富士夫(チョウ フジオ)

担当部署： 財務会計課(ザイムカイケイカ)

担当者名： 佐藤 慎也(サトウ シンヤ)

電話番号： 03-3481-2207

F A X： 03-3481-2284

E - m a i l： sato-si@japan-sports.or.jp

U R L： <http://www.japan-sports.or.jp/>